

## シクリスムエコーNo.101 2003年9月号

2003年ジュニア世界選手権トラック競技……………	2	第34回全日本実業団自転車競技選手権……………	16
第23回アジア選手権・第10回ジュニア・アジア選手権・4		第37回全日本実業団対抗ロードレース……………	18
平成15年度全国高等学校総合体育大会……………	8	全日本BMX選手権大会……………	18
MTBジャパンシリーズ・チャンピオン決定!……………	10	競技大会結果 / 2003MTB世界選速報……………	19
第11回三笠宮杯 ツールドとうほく……………	11	2003年ロード世界選手権大会派遣について……………	20
第38回全国都道府県対抗自転車競技大会……………	12	ACCトラックアジアカップ2003日程決定……………	20
20thシマノ®スズカ®国際ロード……………	15	(財)日本自転車競技連盟評議員名簿……………	20





## 2003年ジュニア世界選手権トラック競技 <北津留翼 2冠 スプリント・ケイリンで金メダルを獲得！>



北津留ケイリンの表彰



北津留スプリントの表彰

今年のジュニア世界選手権トラック競技は、ロシアの首都モスクワのクリラーツゴエ・オリンピックベロドーム(室内板張り333.3m)において、8月20日から5日間の日程で開催された。日本選手団はインターハイ直後ということもあり、体調管理の面ではやや過酷ではあったが、8月14日から3日間の日程で福島県の泉崎において班目秀雄(連盟強化コーチ)氏の指導により調整合宿をおこない大会に臨んだ。

今大会では北津留翼がケイリンとスプリントの二種目で金メダルを獲得するという偉業を達成した。日本選手が金メダルを獲得したのは1983年に清家孝志がスプリントで優勝を飾って以来、実に20年ぶりの出来事である。

**<ケイリン>** 大会2日目のケイリンに出場した北津留は、一回戦、二回戦と危なげなく大差の1着で決勝戦へ駒をすすめた。

決勝戦でのスタートは最もアウトコースの6番手。北津留はスタートの号砲と共にそのまま最後尾の6番手のならびに着くと、レースは大きな隊列の入れ代わりはないままに静かにスピードを増して周回を重ねていった。そして残り2周、ここでレースは大きく動いた。バイクペーサー離脱と同時

にオーストラリアの選手がダッシュ。それに追従した選手による激しい先行争いが繰り広げられた。しかしこの時点で北津留はまったく動く気配を見せず、最後尾でじっと機をうかがっていた。そしていよいよ残り1周を告げるベルが鳴る。ここから北津留はひときわ鋭いダッシュ力で猛然とスパートをかけた。そして1~2コーナーにかけて目の覚めるような捲くりでトップに立つと、3~4コーナーではだめ押しとばかりに後続の追従を振り切り、約2車分の大差をつけて金メダルを決定付けた。まさに“横綱相撲”という形容がぴったりの勝ちっぷりであった。

**<スプリント>** 大会3~4日目におこなわれたスプリントでも北津留の勢いは止まらなかった。予選では11秒501のタイムで6位であったが、相手と競り合った時の北津留の強さは格別で、その後はまったく危なげなく決勝戦まで駒を進めていった。そして決勝戦では、フランスのグレゴリーに先行を許し1本目を先取されたものの、2本目は集中力を取り戻して逃げ切り勝ちをおさめ、レースは3本目にもつれ込んだ。

3本目はやや位置取り合戦気味のローペースで始まったが、すぐに北津

留が先行体勢に入ると約2車身おいてグレゴリーが続く。そのままの並びでバックストレッチからバンク最上段に駆け上がり、ミドルペースで4コーナーを回った。そして残り1周を告げるベルが鳴る。ここから北津留は2つ目の金メダルに向けて果敢に1周先行の作戦に出た。1~2コーナー中央でいったん並走体勢にまで追い込まれるが、グレゴリーはインで粘る北津留をかわし切れないと判断するや、いったんバンクの中段まで駆け登って後に回り、カントを利用して勢いを付け直して再追い込みをはかる。北津留はこの猛追を3~4コーナーで凌ぎ切り、最後は余裕の1着で悠々とゴールを駆け抜けた。北津留の本当の強さを世界が認めた瞬間であった。

**<その他>** 今回の大会では北津留の活躍が特に目立ったが、そのほかの選手もよく健闘した。ポイントレースに出場した西村光太は、2回のポイントチャンスを持ち前のスプリント力で競り勝って効率良く10点を獲得。6位入賞を果たした。西村は年齢的にもう一度出場のチャンスがある。今回の大会で得た経験を生かして今後一層の成長を期待したい。

世界チャンピオンの北津留を擁する

チームスプリントは、ぜひとも3つ目のメダルを獲得したい種目であった。しかし新田祐大、松田優一、北津留翼のならばで1分02秒959のジュニア日本新を出しながらも7位という結果であった。メダル獲得には1秒以上のレベルアップが必要である。日本もレベルアップしているが、世界も確実にレベルアップをしている種目であるということを感じた。

1km T.T.には、新田祐大と松田優一が出場した。両名とも前後輪



ジュニア日本新記録を出したチームスプリント

ディスクに49×14という装備で一発勝負をかけ、新田1分06秒363、松田1分06秒655のタイムを叩き出した。順位はそれぞれ9位と10位で、メダル獲得まであと1秒のタイム差であったが、この1秒を「あとわずか」と見るか「まだまだ」と見るか微妙なところである。

**<考察>** 今回の大会は北津留の二種目制覇により活気ある大会となったが、金メダル獲得が20年ぶりであったというところに日本の競技力の低さを再認識させられた大会でもあった。北津留は今大会を「今回の優勝は昨年の同大会に出場した経験がなければ達成できなかったと思う」と振り返ったが、世界で勝つためのトレーニング、世界で勝つための戦術といったものは、世界を直接肌で体験しなければ得ることが難しい種類のものであるということを考えさせられた。北津留に続く選手をいかに育成してゆくかがこれからの課題である。

(高体連強化委員 川口 敬二)

大会期間 平成15年 8月20日～24日  
派遣期間 平成15年 8月17日～26日  
開催場所 ロシア・モスクワ

代表選手団

監督 折本 裕樹 (取手第一高教諭)  
コーチ 川口 敬二 (岡山工業高教諭)  
幼二ツ 森 昭雄 (連盟強化スタッフ)  
総務 関口 美裕 (選手強化部)  
選手 北津留 翼 (福岡・豊国学園高)  
新田 祐大 (福島・白河高)  
松田 優一 (茨城・取手第一高)  
西村 光太 (三重・三重高)  
金澤 竜二 (福島・学法石川高)

#### [ 競技結果 ]

1kmタイムトライアル  
1 DITZEL Filip CZE 1:04.094  
2 HENRIETTE Didier FRA 1:04.974  
3 HARZHEIM Dominik GER 1:05.381  
9 新田 祐大 JPN 1:06.363  
10 松田 優一 JPN 1:06.655

スプリント  
1 北津留 翼 JPN  
2 BAUGE Gregory FRA  
3 DOEHRER Sebastian GER  
新田 祐大 JPN 1/8F敗退

#### 3km個人追抜競走

1 KHATUNTSEV Alexander RUS 3:21.410  
2 FORD Michael AUS 3:21.781  
3 PASCOE Christopher AUS 3:22.624  
29 西村 光太 JPN 3:36.070  
35 金澤 竜二 JPN 3:38.005

#### ケリ

1 北津留 翼 JPN  
2 THORSEN Daniel AUS  
3 SHIKHALEV Mikhail RUS  
11 松田 優一 JPN

#### スクラッチ (10km)

1 DESPLANQUES Sebastien FRA  
2 KUCZYNSKI Kamil POL  
3 THORSEN Daniel AUS  
24 金澤 竜二 JPN

#### ホィトルス (24km)

1 OLMAN Miles AUS 21 p  
2 DELAGE Mickael FRA 15 p  
3 GRABOVSKYY Dmytro UKR 15 p  
6 西村 光太 JPN 10 p

#### チームスプリント

1 GERMANY 1:01.020  
2 RUSSIA 1:01.310  
3 POLAND 1:01.707  
4 AUSTRALIA 1:02.432  
7 日本 (新田・松田・北津留) 1:02.959



## 日本新記録

#### 4km 団体追抜競走

男子シニア 4分18秒486 日本 (内田、佐々木、西谷、黒木) 2003/8/11 大韓民国・昌原  
前号にて「男子プロ記録」として掲載しましたが、「男子シニア記録」としても認定されました。

#### チーム・スプリント (333m×3)

男子ジュニア 1分02秒959 日本 (新田 祐大、松田 優一、北津留 翼) 2003/8/24 ロシア・モスクワ



## 第23回アジア自転車競技選手権 第10回ジュニア・アジア自転車競技選手権

### 8月1日(金)

ロードレースにエントリーしたエリート・ジュニアが大韓民国・昌原(チャンウォン)に入り、TTコースと個人ロードコースの試走をする。高橋コーチのトレーニングスケジュールに従いコンディションの調整と、鬼原メカニシャンによる自転車の調整、石田マッサーの身体調整を行った。

### 8月5日(火)

9時よりエリートのTT(43.40km)が12カ国12名で始まった。日本は岡崎和也(日本舗道)が出場し、11番目にスタートした。前半3位のタイムで折り返し後半に期待したが、Askar( Iran )が後半もスピードを維持し54分27秒65で優勝。2位はMa( Vietnam )、岡崎は1分16秒の差をつけられ3位となった。



次にジュニア(21.40km)に高橋貴一(村山農高)が出場したが7位におわる。

午後2時から女子エリート(21.40km)に大塚 歩(A+00)が出場。参加は6カ国6名。I( China )に2分39秒の差をつけられ3位に終わる。



見事エリート男子ロード・ワンツーフイニッシュの鈴木(中央)と野寺(右)  
右端は今大会のチームコミセールの松倉氏

女子ジュニアは14.40kmで行われ、永田萌子(別府商高)が見事金メダルを獲得した。前半からKim( Korea )に5秒差をつけ、後半に入りペースが落ちかけたが、高橋コーチの指示でギヤ比を上げて走り再び5秒差をつけてゴール、21分36秒21で優勝した。



### 8月6日(水)

エリート男子・ジュニア女子の個人ロードが始まった。エリートは、145.8kmで12カ国50名が参加。9時にデモンストレーションスタートし、カーサーキットを1周してから本コースに入りレースが始まるはずだったが先導車がコースを誤り、いつの間にか本コースに入りレースが始まった。前半40km過ぎころ福島康司(JPCA)、野寺秀徳(シマノ)、岡崎ら8人でファーストグループを作った。その後イランの選手を利用して鈴木真理(シマノ)が

加わり12人の先頭集団ができ、周回コースへと入って行く。ここからは山に入り2周してゴールへ向かうが、香港の山岳チャンピオン・ワンカンボがセカンドグループを作りペースを上げる。しかし、狩野智也(シマノ)、真鍋和幸(ミヤタ)らが徹底マークしてワンをつぶし、集団をコントロールした。終盤に入り福島と岡崎がペースアップをして日本ペースに持って行き、鈴木と野寺のゴールスプリントに託した。イランが2人、タイが1人で合計5人のゴール勝負となり、Malek( Iran )をゴール前で鈴木が追い込み1位でゴール、次に野寺がハンドルを投げてゴール、2位に食い込んだ。

3時間33分04秒のドラマは、日本の金銀で幕をおろした。この勝利は個々にベストを尽くし、チームのための自己犠牲によるチームワークがこの結果を生んだと思う。良く頑張った。

ジュニア女子は68.80kmで行われたが、午後3時から始まり気温も上がり給水も早くなった。宮崎杏菜(別府商高)、萩原麻由子(伊勢崎女子高)、永田の3人で挑むも23秒差で5位に萩原、7位宮崎、9位永田の順でゴール。経験をつめば次につながると思う。夕方にトラック組が昌原に入り全員集合となった。

### 8月7日(木)

ロード最終日、エリート女子とジュニア男子が行われたが、台風の影響で

ジュニアのスタートが1時間遅れで始まり、コース状況も悪く30kmを短縮、80.80kmの距離でスタートした。青木康貴(日大)、石川雅望(前橋工高)、水尾健志(藤沢北高)、高橋の4名で挑む。前半に石川、高橋が落車に巻き込まれたがメカの対応がよく、折り返しまでにトップ集団に追いついた。折り返し後石川がパンク、ここもメカの素早さで集団に復帰できた。終盤に入り台北、イラン、韓国の3名の逃げが決まり4位争いのゴール勝負となったが、青木が5位となり表彰台にはあがれなかった。

エリート女子(79.80km)は、午後2時に7カ国26名がスタートした。日本は森本朱美(鳥取湖陵高教諭)、高橋いずみ(東京)、嶋田広子(北海道)、大塚の4人で挑んだ。後半に森本が逃げを試みたが中国のブロックにあり、逃げが決まらず21人のゴールスプリントとなり、大塚が5位に入りロードのすべての日程が終了した。ロード種目は金2個、銀1個、銅2個を獲得することが出来た。

トラック組は、午後からの指定練習で軽く足慣らしをしてレースに備えた。

### 8月8日(金)

朝6時50分、ロードの選手たちはホテルを出て空港へ向かい帰国の途に着いたが、台風の影響で福岡便が関空に到着することになってしまった。

午後1時よりトラック組は、昌原の競輪場(333m)で各自2時間の指定練習の中でトレーニングを行いここのパンクに慣れるよう調整した。昌原競輪場はグリーンドーム前橋に似た作りだが前橋よりも走りやすいと選手たちが口にしていた。

### 8月9日(土)

午前10時、まずエリート女子ケイリン予選からトラック競技が開始となった。4カ国8名で予選2組、2着までが決勝へ進み、後は敗者復活戦で2着までが決勝に進める。太刀川麻也(スーパーK)、遠藤友子(鹿屋体大)がエントリー、予選遠藤が3位、太刀川は落車、ともに敗者復活へ。太刀川の怪我を心配したが、太刀川先行、遠藤がマークしてゴール、両者決勝に進むことができた。

男子のスプリント予選200mTTでは、エリートで前反祐一(広島)が10秒503で3位、稲垣裕之(京都)が10秒513で4位、エントリー数が12人のため1/4ファイナルへ進んだ。ジュニアも1/4へ

笹倉慎也(富山水橋高)が11秒039、川端朋之(倉吉工高助手)が11秒040で進んだ。1/4決勝はエリート・ジュニアともに2本勝ちで1/2決勝へ進んだ。午前最後の種目、エリート・ジュニア女子個人追抜に大塚、萩原がエントリー。3kmで大塚は3分59秒694で4位となり、2kmの萩原は2分40秒710で3位となり、両者共、翌日の3~4位決定戦に進んだ。

午後2時30分からの500mTTでは、ジュニア女子に萩原が走り、39秒508で4位。エリート女子は太刀川が36秒095で2位に入った。ケイリンの落車の影響もありこのようなタイムに終わった。



エリート500TT  
2位の太刀川

午後4時50分からのジュニア男子24kmポイントレースに青木、竹山陵太(宮城東北高)を含む6カ国12名が出走。竹山が中盤で香港と逃げが決まり3連続5ポイントをとる楽な展開に、更に青木のアシストがうまくゆき、1ラップしてトータル40ポイントで優勝、青木は6ポイントで8位になった。



竹山

エリート女子ケイリン決勝が今日のラストレースとなり、中国のJIANGが先行して1位。太刀川はインをつけて2位に食い込み、今日2個目の銀獲得となった。遠藤は5位に終わった。

### 8月10日(日)

エリート女子のスプリント予選

200mTTで始まる。太刀川と篠崎新純(明大)が出場し1/4決勝に進んだが、太刀川が3~4位決定戦、篠崎は5~6位決定戦となった。

次に個人追抜の予選が行われ内田慶(栃木)、佐々木孝司(青森)、青木、石川が出場した。エリートの内田が4分39秒744で5位。前回ならば決勝に進めたタイムだが、今回はレベルが上がり残念だった。佐々木は4分51秒453で10位に終わった。ジュニアも石川が3分42秒058で6位、青木が7位で3分42秒267の結果に終わった。女子は、3~4位決定戦で大塚が韓国に敗れ4位に、萩原は2分39秒177のジュニア日本新で3位に入り、銅メダルを手にした。

団体追抜はエリートのみエントリーし、佐々木、内田、西谷泰治(愛三工業)、黒木裕介(法大)の4人で挑んだ。前半の入りが少し早すぎたため4分20秒709で3位に終わり、決勝戦に進めなかった。



エリート団体追抜3位

ジュニア女子のポイントも萩原が出たが5ポイントしかとれず5位に終わった。ラスト1周での落車は痛かった。スプリントのエリートはまず1/2決勝に稲垣が韓国の競輪選手KIMと戦ったが2対0で3~4位決定戦に、次に前反はマレーシアのJOSIAH(WCC)と対戦2対1で撃破し決勝へ進んだ。ジュニアは川端、笹倉ともに韓国に敗れ、両者で3~4位決定戦。川端が2対1で笹倉を破り銅メダルをものにした。エリートは前反とKIM、1対1でむかえた3本目、押圧を取られ降格になり金を逃し銀メダルとなった。納得の出来ない判定? 3~4位決定戦は1本取られてから稲垣が10秒048を出し快勝、次も接戦を征し銅メダルを手にした。



男子エリート1kmTT優勝の井上

8月11日(月)

チームスプリントが午前10時から始まり前反、稲垣、矢口啓一(群馬)の3人で予選を走り、1分02秒278で決勝戦進出をきめた。ジュニアは川端、笹倉、石川が1分05秒754で3~4位決定戦にとどまった。エリート女子スプリント5~6位決定戦で篠崎はHSU(台北)を下し5位に入った。

午後2時から1kmTTでジュニアは、笹倉が1分09秒388で5位、エリートは井上昌己(長崎)が1分04秒704で中国を押さえて金メダルに輝く。

次に団体追抜の3~4位決定戦。ホームが日本、バックがカザフスタンでスタート。前半を少し押さえ気味に作戦をかえ後半勝負にしたのが功を奏し、4分18秒486の日本新で3位の銅メダルを手に入れた。今日のラストレース、エリート女子チームスプリント予選が午後4時30分に始まり、遠藤、篠崎、太刀川で1分10秒972で決勝戦にコマを進めた。



男子エリート チームスプリント優勝

8月12日(火)

午前9時にエリート男子ポイント40kmレースがスタート。坂口博(愛三工業)がアシスト、西谷はポイントゲッターでレースを進めた。最終回のゴールスプリントで5点を取れば逆転できたが、韓国のSOGNIに

取られ惜しくも3位になり銅メダルに終わった。エリート女子も韓国のHANが優勝し、大塚は3位銅メダルを手にした。エリート女子のスプリント3~4位決定戦は不戦勝で太刀川が銅メダルを獲得。

午後2時30分からジュニア男子エリミネーションが始まる。青木、竹山の2人が出て粘り強く走ったが、竹山が銀メダル、青木は5位に終わった。エリートは黒木が出たが10位だった。

ジュニアのチームスプリントは、予選と同じメンバーで走り1分05秒830で3位に入った。エリートは、アンカーの矢口を井上に変えて決勝戦に挑み、見事1分01秒840で優勝し金メダルを獲得した。井上は2つ目の金を手にした。

8月13日(水)

午後から始まる予定を変更して午前9時からエリート男子のマディソンが始まった。坂口、西谷ペアが健闘したがタッチワークがうまく行かず5位に沈んだ。ケイリン・ジュニアは川端、笹倉が出たがエントリーが7名だけなのでファイナルとなり川端が3位、笹倉が6位になった。エリートは13名がエントリーし、2組の予選で始まった。最初に太田真一(埼玉)が先行逃げ切りで決勝に、次に矢口も先行逃げ切りで決勝進出を決めた。エリート女子チームスプリント決勝は1位通過の中国と戦い、1分10秒283で予選よりも良いタイムで堂々の金メダルを手中に収めた。アンカー太刀川のギヤを47から48x14に変えたのが功を奏した。遠藤、篠崎、



男子エリート ケイリン表彰  
左から2位太田、1位矢口

太刀川、よく頑張った。エリートスクラッチに佐々木、黒木が出たが入賞はできなかった。ジュニアは、青木が3位、竹山が5位に入りジュニア全員メ



女子エリートも チームスプリント優勝

ダルを手にする事ができた。昌原、最後のレース、ケイリン決勝が始まる。韓国2人、マレーシア2人と太田、矢口の計6人が優勝を目指して戦った。韓国のかましを矢口がまくり優勝。太田がマークで2位に入り金銀を獲得した。  
(監督 福田 公生)

[ 競技結果 ] 日本選手出場種目のみ

<男子エリート>

ロードタイムトライアル (43.4km)

1	ASKARI Hossein	IRI	54:27.65
2	MAI Cong Hieu	VIE	54:52.82
3	岡崎 和也	JPN	55:44.23

個人ロードレース (145.8km)

1	鈴木 真理	JPN	3:33:04
2	野寺 秀徳	JPN	3:33:04
3	MALEKI Mizan Hassan	IRI	3:33:04
6	福島 康司	JPN	3:33:22
7	岡崎 和也	JPN	3:34:09
18	狩野 智也	JPN	3:35:36
21	真鍋 和幸	JPN	3:35:36

1kmタイムトライアル

1	井上 昌己	JPN	1:04.704
2	GUO Jian Bin	CHN	1:05.214
3	LIU Chin Feng	TPE	1:06.963

スプリント

1	KIM Chi Bum	KOR	
2	前反祐一郎	JPN	
3	稲垣 裕之	JPN	

4km個人追抜競走

1	HAGHI Alireza	IRI	4:37.234
2	JANG Sun Jae	KOR	4:37.799
3	BUSHANSKIY Viadimir	KAZ	追抜勝
5	内田 慶	JPN	4:39.744
10	佐々木孝司	JPN	4:51.453

ケイリン

1	矢口啓一郎	JPN	
2	太田 真一	JPN	
3	KIM Chi Bum	KOR	

アマチュア

1	CHOI Soon Young	KOR	
2	ZARGARI Amir	IRI	
3	KOLESSOV Alexey	KAZ	
10	黒木 裕介	JPN	

スクラッチ

1	SONG Kyung Bang	KOR	
2	SOHRABI Mahdi	IRI	
3	HAGHI Alireza	IRI	
8	佐々木孝司	JPN	

マディソン (33km)

1	加ダスタ		17 p
2	大韓民国		(-1) 15 p
3	イラン		(-1) 13 p
5	日本 西谷・坂口		(-1) 4 p

ホントレース (40km)

1	SONG Kyung Bang	KOR	37 p
2	SOHRABI Mahdi	IRI	37 p
3	西谷 泰治	JPN	32 p
10	坂口 博	JPN	1 p

チームスプリント

1	日本 井上・前反・稲垣		1:01.840
2	大韓民国		1:03.013
3	チャイニーズタイペイ		

4km団体追抜競走

1	大韓民国		4:16.019
2	イラン		4:25.584
3	日本 佐々木・内田・西谷・黒木		4:18.486

<女子エリート>

女子エリートロードタイムトライアル (21.4km)

1	LI Mei Fang	CHN	28:11.41
2	HAN Song Hee	KOR	28:45.68
3	大塚 歩	JPN	30:50.61

女子エリート個人ロードレース (79.8km)

1	JIANG Yan Xia	CHN	2:11:26
2	ZHANG Jun Ying	CHN	2:11:26
3	CHOI Hye Kyeong	KOR	2:11:26
5	大塚 歩	JPN	2:11:26
10	森本 朱美	JPN	2:11:26
20	高橋いづみ	JPN	2:11:26
21	嶋田 広子	JPN	2:11:26

500mタイムトライアル

1	JIANG Cui Hua	CHN	35.462
2	太刀川麻也	JPN	36.095
3	KIM Sun Yi	KOR	36.895

スプリント

1	JIANG Cui Hua	CHN	
2	AHN Yun Hee	KOR	
3	太刀川麻也	JPN	
5	篠崎 新純	JPN	

3km個人追抜競走

1	LI Mei Fang	CHN	3:57.634
2	ZHANG Jun Ying	CHN	4:09.415
3	LIM Hyang Joon	KOR	3:59.732
4	大塚 歩	JPN	4:02.417

ケイリン

1	JIANG Cui Hua	CHN	
2	太刀川麻也	JPN	
3	LEE Jong Ae	KOR	
5	遠藤 友子	JPN	

ホントレース (24km)

1	HAN Song Hee	KOR	48 p
2	NI Feng Han	CHN	30 p
3	大塚 歩	JPN	29 p

チームスプリント

1	日本 太刀川・遠藤・篠崎		1:10.283
2	中国		1:10.863
3	大韓民国		1:11.611

<男子ジュニア>

男子ジュニアロードタイムトライアル (21.4km)

1	JU HYUN Wook	KOR	28:19.25
2	KHAYANKHYARVA Uuganbajar	MGL	28:52.64
3	RAJABLOV Mohammad	IRI	28:55.17
7	高橋 貴一	JPN	29:28.15

男子ジュニア個人ロードレース (80.8km)

1	CHEN Tsun Kuei	TPE	1:58:44
2	KIM Dong Hoon	KOR	1:58:47
3	NOROUZI Vahid	IRI	1:59:09
5	青木 康貴	JPN	1:59:18
7	石川 雅望	JPN	1:59:18
13	水尾 健志	JPN	1:59:18
18	高橋 貴一	JPN	1:59:18

1kmタイムトライアル

1	WU Po Hung	TPE	1:07.175
2	KIM Won Jung	KOR	1:07.639
3	JAMALUDIN Amirrudin	MAS	1:08.494
5	笹倉 慎也	JPN	1:09.388

スプリント

1	CHON Young Kyu	KOR	
2	KIM Won Jung	KOR	
3	河端 朋之	JPN	
4	笹倉 慎也	JPN	

ケイリン

1	CHON Young Kyu	KOR	
2	PARK Min Oh	KOR	
3	河端 朋之	JPN	

アマチュア

1	KIM Min Kyoon	KOR	
2	竹山 陵太	JPN	
3	WU Kin San	HKG	
5	青木 康貴	JPN	

ホントレース (24km)

1	竹山 陵太	JPN	40 p
2	CHEUNG King Wai	HKG	33 p
3	CHENG Yung Hua	TPE	27 p
8	青木 康貴	JPN	6 p

スクラッチ

1	KIM Dong Hoon	KOR	
2	LEE Hsin Hsien	TPE	
3	青木 康貴	JPN	
5	竹山 陵太	JPN	

チームスプリント

1	大韓民国		1:03.126
2	チャイニーズタイペイ		1:03.992
3	日本 笹倉・河端・石川		1:05.830

<女子ジュニア>

女子ジュニアロードタイムトライアル (14.4km)

1	永田 萌子	JPN	21:36.21
2	KIM Cham Mi	KOR	21:41.58
3	WONG Wan Yiu	HKG	21:48.16

女子ジュニア個人ロードレース (68.8km)

1	LEE Min Hye	KOR	2:15:10
2	MA Li Bo	CHN	2:15:10
3	KIM Cham Mi	KOR	2:15:10
5	萩原麻由子	JPN	2:15:33
7	宮崎 杏菜	JPN	2:15:33
9	永田 萌子	JPN	2:15:33

500mタイムトライアル

1	WANG Qian	CHN	36.004
2	RYU Jin Ah	KOR	36.512
3	HISAO Mei Yu	TPE	38.437
4	萩原麻由子	JPN	39.508

2km個人追抜競走

1	YOOK Ji Yiung	KOR	2:33.907
2	CHANG Hye Rim	KOR	2:35.733
3	萩原麻由子	JPN	2:39.177

ホントレース (10km)

1	CHANG Hye Rim	KOR	15 p
2	YOOK Ji Yiung	KOR	13 p
3	HISAO Mei Yu	TPE	12 p
5	萩原麻由子	JPN	5 p



# 平成 15 年度全国高等学校総合体育大会

秩父宮杯第 54 回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会・第 48 回全国高等学校自転車道路競走中央大会

高校生の夏の祭典「長崎ゆめ総体」が長崎県にて開催された。トラックレースは佐世保競輪場、ロードレースは普賢岳の噴火災害より復興を果たした島原市を中心とした島原半島特設ロードコースにて実施された。

## 【1kmタイム・トライアル】

台風の影響（BS向い風：強風）により、タイム系競技にとっては非常に不利なコンディションであった。そのような環境で実施されたこの種目、16組（31名）出走中、13組終了時点で1分10秒を切った選手は2名、再発走を含め、残り6名の走りが注目された。

15組HS側よりスタートの新田祐大

1kmTT優勝の新田



（福島：白河③）が悪コンディションの中、1分07秒547の好タイムで優勝、同組B S側スタートの大西祐（香川：高松高専②）も、0.058差および、1分07秒605で2位、最終組HS側スタートの早坂秀悟（宮城：仙台商③）が前半から積極的に飛ばすもプレッシャーがあったのか、トップより0.399差の3位、BS側スタート中村（熊本：九州学院③）も後半振るわず、1秒030差で4位であった。悪コンディションでのシード選手の気迫のこもった走りに会場も盛り上がった。

## 【3kmインディヴィデュアルパーシュート】

午後に入ると台風の影響で激しい雨と風に見舞われ、出走組によってコンディションの差が激しかったが、台風の影響であれば仕方の無いところである。レースは3組出走の渡辺耕三郎（神

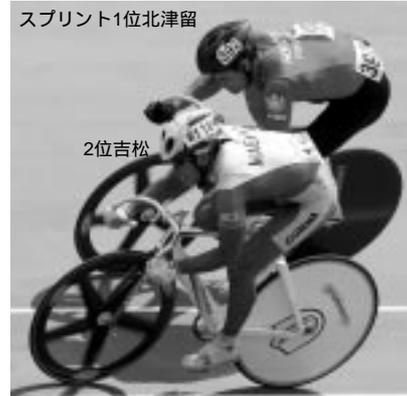


3kmIP優勝の金澤

奈川：法政二③）が3分45秒575（3位）、7組出走の房州輝也（福島：平工②）が3分45秒320（2位）を記録した後は平凡な記録が続いた。後半になるとバンクコンディションも一時的に改善されるもタイムは伸びなかったが、最終20組発走の金澤竜二（福島：学法石川③）が3分41秒544の好タイムで走りきり優勝、前述の2名が2、3位に入賞した。

## 【スプリント】

北津留翼（福岡：豊国学園③）が期待通り優勝、今大会2連覇を飾った。対戦相手の吉松賢二（群馬：前橋工③）が2位、3・4位決定戦を制した高橋紀史（秋田：六郷②）が3位に入賞した。



スプリント1位北津留

2位吉松

## 【4km速度競走】

スタートの合図とともに飛び出し一気に先頭責任を完了、周回中は足を温存した遠藤邦明（宮城：東北②）が最終周回2Cより満を持してスパートし優勝、2位には、最終周回に完了、その勢いに乗って勝負に出た牧瀬雄志（鹿児島：鹿児島実業③）、3位には池浦敏彦（新潟：吉田③）が入賞した。

## 【ポイントレース】

3回目のポイント周回付近より、3名の選手が逃げ、その後1名の選手が千切れ、2名の選手が周回を重ねた。途中何度か逃げを試みるも何れも決まらず吸収された。7回目のポイント周回後、2名の選手が集団をラップし20点を獲得、残りポイント周回が5回となる。レース中盤でのラップであったのでこの時点ではこの2名以外の選手にも十分チャンスは残されていたがその後の逃げの動きは無かった。最終的にはこの2名のラップ後の獲得得点が明暗を分け、守澤太志（秋田：大曲農③）が

44点で優勝、2位は1ポイント差で長江寿也（青森：八戸工③）、3位にはGポイントを1位で通過し、計10点を獲得した古川尚取（栃木：作新学院③）が入賞した。

## 【ケイリン】

最終3Cより大外をまくり追い込みの坂本亮馬（福岡：久工大附③）が3月の高校選抜大会に続いて優勝、坂本をマークその外を差し込んできた加美山隆行（宮城：仙台商②）が僅差届かず2位、打鐘より先行の柴崎 淳（三重：朝明②）の先行に乗るもインに詰まりコースがなかった椎木尾拓哉（和歌山：和歌山北③）が3位に入賞した。



ケイリン優勝の坂本

## 【エリミネーション・レース】

常に好位置をキープした本間慎吾（新潟：吉田②）が全国大会初優勝、2位には選抜3位の網谷竜次（香川：高松工芸②）、選抜4位の佐々木亮（宮城：古川工③）が3位に入賞した。入賞圏内のレース後半に入った所で落車が発生し、原因を作った選手が失格となり残念であった。

## 【個人タイムトライアルロードレース】



個人ロードTT優勝の根本

チームスプリント優勝の仙台商高



4km団体追抜優勝の岐南工高



島原復興アリーナを基点とし、バイパス(高架道路往復)を使用したの距離11.6kmで行われた。距離的にやや物足りない感があったものの道路事情なら仕方ないところである。優勝は唯一15分台で走りきった2番シードの根本哲吏(秋田:大曲農③)2位には河原林淳(京都:北桑田③)3位には昨年茨城大会4位の前田雅則(和歌山:和歌山北③)が入賞した。

#### 【個人ロードレース】

レース終盤に16名の逃げ集団が形成されるも、途中メカトラブルで1名脱落、最終的には15名でのゴールスプリントとなった。優勝は1年生から活躍している西村光太(三重:三重③)2位には畑中裕介(東京:昭和第一③)3位には長義幸(和歌山:田辺③)が入賞し

た。真夏の炎天下で行われたロードレースであったが大きな事故もなく、完走者も136名中85名を数えた。

#### 【学校対抗】

秋田県立大曲農業高校が33点でインターハイ総合初優勝、準優勝は和歌山県和歌山北高校26点、3位は宮城県仙台商業高校23点であった。入賞校8校中4校が東北勢であった。

#### 【総括】

7月に九州を襲った2度の集中豪雨により、ロードコース計8ヶ所の地滑り、そして本大会では直撃は免れたものの台風10号の影響で激しい雨と強風に見舞われた。初日より競技日程も変更し次ぐ変更で選手にとってはコンディション調整の難しい大会となった。しかし、風雨の影響でタイム系競技には

不利な状況であったにも関わらず、上位陣(シード選手)は大きく崩れることはなく、高校生のこの大会にける意気込みを強く感じた大会であった。

また、競輪場をお借りして大会を開催するため制約事項も多く、選手・監督、また関係者の方々には何かとご不便をお掛けしました。しかしながら、このような日程、天候等にも関わらず、大きな事故もなく無事に大会を終了することができたことは、参加選手・監督のご協力と、地元の長崎県、佐世保市、島原市を中心とする関係市町村をはじめとする関係各位のご尽力の賜であると思えます。紙面をお借りしまして、心から感謝申し上げます。

(総務委員 中田 将次)



個人ロードのゴールスプリントを征した西村

悔しがる2位畑中

[ 競技結果 ]

1kmタイムトライアル

- 1 新田 祐大 福島 白河 1:07.547
- 2 大西 祐 香川 高松高専 1:07.605
- 3 早坂 秀悟 宮城 仙台商 1:07.946
- 4 中村 健志 熊本 九州学院 1:08.577
- 5 福島 武士 香川 高松工芸 1:09.619
- 6 佐藤 幸治 秋田 六郷 1:09.716

スプリント

- 1 北津留 翼 福岡 豊国学園
- 2 吉松 賢二 群馬 前橋工
- 3 高橋 紀史 秋田 六郷
- 4 佐藤 博紀 岩手 紫波
- 5 佐藤 康恭 福島 平工
- 6 寺田 信彦 大分 別府商

3km個人追抜競走

- 1 金澤 竜二 福島 学法石川 3:41.544
- 2 房州 輝也 福島 平工 3:45.320
- 3 渡辺耕三郎 神奈川 法政二 3:45.575
- 4 根本 哲史 秋田 大曲農 3:45.645
- 5 奥田 賢司 奈良 榛原 3:45.851
- 6 若槻 彰隆 大阪 大産大付 3:46.114

4km速度競走

- 1 遠藤 邦明 宮城 東北 4:52.620
- 2 牧瀬 雄志 鹿児島 鹿児島実 4:52.910
- 3 池浦 敏彦 新潟 吉田 4:55.240
- 4 藤野 孝彦 佐賀 龍谷 4:57.710
- 5 大久保淳一 福井 春江工 4:58.890
- 6 田鎖 哲也 神奈川 向上 5:02.450

ケリッ

- 1 坂本 亮馬 福岡 久留米工大付
- 2 加美山隆行 宮城 仙台商
- 3 椎木尾拓哉 和歌山 和歌山北

- 4 柴崎 淳 三重 朝明
- 5 後藤 秀一 大分 明豊
- 6 岡本 光由 熊本 九州学院

リミテーション

- 1 本間 慎吾 新潟 吉田
- 2 網谷 竜次 香川 高松工芸
- 3 佐々木 亮 宮城 古川工
- 4 後藤 健一 大分 別府商
- 5 夏堀 宏司 青森 八戸工
- 6 橋本 勇人 和歌山 和歌山北

ポイントレース

- 1 守澤 太志 秋田 大曲農 44 p
- 2 長江 寿也 青森 八戸工 43 p
- 3 古川 尚耶 栃木 作新学院 10 p
- 4 宮原 哲弥 福岡 久留米工大付 9 p
- 5 島田 真琴 東京 八王子工 9 p
- 6 前田 雅則 和歌山 和歌山北 8 p

チームスプリント

- 1 仙台商 長田・早坂・菅田 1:18.951
- 2 和歌山北 前田・椎木尾・橋本 1:19.519
- 3 高松工芸 福島・藤井・網谷 1:19.907
- 4 愛工大名電 佐野・高橋和・高橋政 1:20.088
- 5 豊国学園 是永・北津留・櫻山 1:20.393
- 6 前橋工 吉松・瀧野・中川 1:20.449

4km団体追抜競走

- 1 岐南工 後藤・中島・高橋・川西 4:38.890
- 2 大曲農 根本・守澤・田村・仲村 4:41.950
- 3 六郷 佐藤・石崎・高橋公・武田 4:44.830
- 4 岡山工 佐藤・田中・片山・大森 4:45.450
- 5 八戸工 長江・夏堀・小野寺・三浦 4:45.800
- 6 紫波 高橋・米倉・橋場・漆澤 4:47.040

個人ロードレース (110.0km)

- 1 西村 光太 三重 三重 2:59:39.38

- 2 畑中 勇介 東京 昭和第一 2:59:39.45
- 3 長 義幸 和歌山 田辺 2:59:39.46
- 4 高谷 敏史 青森 青森山田 2:59:39.54
- 5 宮原 哲弥 福岡 久工大付 2:59:39.55
- 6 長江 寿也 青森 八戸工 2:59:39.59
- 7 石浦 一憲 京都 北桑田 2:59:39.61
- 8 田鎖 哲也 神奈川 向上 2:59:39.69
- 9 堀川 寛太 群馬 前橋工 2:59:39.74
- 10 小野寺 健 北海道 文教大明清 2:59:39.75

個人ロードタイムトライアル (111.6km)

- 1 根本 哲史 秋田 大曲農 15:43.590
- 2 河原林 淳 京都 北桑田 16:02.619
- 3 前田 雅則 和歌山 和歌山北 16:13.741
- 4 前田 修平 和歌山 紀北工 16:20.959
- 5 阿久津優一 千葉 京葉工 16:22.084
- 6 片山 和正 岡山 岡山工 16:33.048
- 7 金澤 竜二 福島 学法石川 16:35.221
- 8 松田 優一 茨城 取手一 16:36.265
- 9 中島 和夫 岐阜 岐南工 16:36.970
- 10 若槻 彰隆 大阪 大産大付 16:39.238

トラック学校対抗得点

- 1 大曲農 (秋田) 24点
- 2 仙台商 (宮城) 23点
- 3 和歌山北 (和歌山) 20点

ロード学校対抗得点

- 1 三重 (三重) 9点
- 2 大曲農 (秋田) 9点
- 3 北桑田 (京都) 9点

総合得点

- 1 大曲農 (秋田) 33点
- 2 和歌山北 (和歌山) 26点
- 3 仙台商 (宮城) 23点

## MTB ジャパンシリーズ・チャンピオン決定!

8月23~24日に青森市で行われた「2003年JCFマウンテンバイクジャパンシリーズ青森大会 in モヤヒルズ」の結果をもって、本年度のジャパンシリーズランキングのチャンピオンが決定した。

クロスカントリー男子は山口孝徳、女子は南部博子。ダウンヒル男子は竹本将史、女子は増田まみがそれぞれチャンピオンとなった。



XC男子エリート



XC女子エリート



DH男子エリート



DH女子エリート

2003年JCFジャパンシリーズ ランキング

XC男子エリート

- 1 山口 孝徳 長野 MX/MONGO 1040p
- 2 竹谷 賢二 千葉 FORD/SPEC 980p
- 3 野口 忍 京都 TREK Japan 970p

XC女子エリート

- 1 南部 博子 福岡 TREK Japan 1200p
- 2 真下 正美 神奈川 SY-Nak SPEC 877p
- 3 中込由香里 長野 SY-Nak SPEC 830p

DH男子エリート

- 1 竹本 将史 埼玉 プリンスアスカ 729p
- 2 沓太 功 埼玉 MX/MONGO 674p
- 3 高橋 唯之 福島 G CROSS 619p

DH女子エリート

- 1 増田 まみ 埼玉 GIANT JAPAN 799p
- 2 猪俣 浩子 神奈川 FOES/CREDIT 747p
- 3 渡辺 キリ 長野 CANNONDALE 667p

# 第11回 三笠宮杯 ツールド<sup>®</sup>とうほく



写真提供 河北新報社



## [ 競技結果 ] 2003年8月14 ~ 17日 )

### 男子ジュニア個人総合成績

1	長江 寿也	青森 八戸工業高	4:51:05
2	河原林 淳	京都 近畿選抜	4:51:10
3	山本 幸平	北海道 北海道選抜	4:51:33
4	片山 和正	岡山 岡山工業高	4:51:45
5	老田 龍海	奈良 近畿選抜	4:51:49
6	島田 真琴	東京 関東地域	4:51:59
7	相川 将	埼玉 川越工業高	4:52:12
8	綿引 雄哉	青森 八戸工業高	4:52:21
9	石浦 一憲	京都 北桑田高校	4:52:22
10	田中 孝一	岡山 岡山工業高	4:52:52

### 男子ジュニアチーム総合成績

1	近畿選抜	9:43:03
2	八戸工業高校	9:43:30
3	岡山工業高校	9:44:38
4	北海道選抜	9:45:04
5	北桑田高校	9:45:43
6	九州選抜	9:45:54

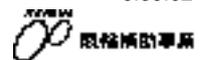
### 女子個人総合成績

1	唐見実世子	石川 JCFチーム	3:16:53
2	大塚 歩	栃木 JCFチーム	3:17:23
3	村中恵美子	東京 GS・村・ミヅウリ	3:18:46
4	中村 珠藻	奈良 JCFチーム	3:18:47

5	永田 萌子	大分 高体連選抜	3:19:27
6	小野山恵美 愛媛	GS・村・ミヅウリ	3:20:02
7	許斐真由子	鹿児島 学連選抜	3:20:09
8	坂田 佳子	兵庫 VOLCA-CCM	3:20:57
9	宮崎 杏菜	大分 高体連選抜	3:22:35
10	斎藤 綾	秋田 学連選抜	3:24:05

### 女子チーム総合成績

1	JCFチーム	6:34:53
2	GS・村・ミヅウリ	6:38:22
3	学連選抜	6:39:02



長江 寿也 ナガエ カズヤ

青森県立八戸工業高等学校 自転車競技部

今年の第11回三笠宮杯ツールド・とうほくは、気温が上がらず日照不足の中、東北3県、3ステージで開催されました。

第1ステージは秋田県大潟村ソーラーズポーツラインで行われました。20kmのタイムトライアルは、初めて走るということもあって緊張しました。しかし、出走は最後の方だったので、走り終わった選手から

の話を聞いたことで、イメージ通りの走りことができました。首位の河原林君(近畿選抜)に12秒差の2位に入ることができました。

第2ステージは岩手県紫波町佐比内地区を周回するコースでおこなわれました。序盤は集団に目立った動きがなかったので、中盤以降にきっかけをつくろうと単独でアタックを試みました。途中、集団を離すことができたのですが、最後に捕まってしまう、ゴールスプリントの勝負になり、上位でフィニッシュするのがやっとでした。しかし、総合ではトップと4秒差まで詰め寄ることができました。

最終日の第3ステージは、後半にきつい登りがある仙台市の泉ピレジを周回するコースでした。最終周回の登りで勝負をかけ、逆転優勝してやろうという作戦でレースに臨みました。序盤から数人が小さな逃げを仕掛けましたが、すぐに集団に吸収さ

れるといったレースになりました。僕自身は前をキープしながら、逃げるチャンスを待っていました。最終周回では逃げを試みる選手が小さな集団を形成したところで、最後の登りでスパートをかけ、先行している集団の上位につけました。最後の下りは集団を引き離しながらゴールまでの長い登りを先行している小野寺君(北海道選抜)を必死に追いかけてきましたが、差しきることができず、2位でゴールラインを通過しました。そのためボーナスタイム6秒を獲得したことで、前日までの総合首位だった河原林君(近畿選抜)を抜き、総合成績では逆転で優勝することができました。

今まで頑張ってきた成果を発揮でき、全国レベルの試合で初優勝できてとてもうれしく感じました。これからも練習に励み、同じ感動を得られるように頑張りたいです。

# 第38回全国都道府県対抗自転車競技大会



ロード・レース(2003年8月24日)

埼玉県上尾駅東口前を発着点とし、桶川市・北本市・鴻巣市・吉見町・東松山市・嵐山町・玉川村・都幾川村・東秩父村・小川町を経由する特設ロード・レースコース

## [ 競技結果 ]

成年男子(119km)

1	菅原 勝良	埼玉	3:11:53
2	山本 敬純	大阪	3:13:55
3	箕 五郎	長野	3:14:02
4	津末 浩平	大分	3:14:03
5	土井 雪広	山形	3:16:32
6	石堂 大悟	広島	3:16:53
7	山田 哲治	高知	3:16:53
8	森 正和	静岡	3:16:54
9	内田 博之	徳島	3:17:05
10	三木 哲也	兵庫	3:21:47

少年男子(119km)

1	石浦 一憲	京都	3:13:54
2	島田 真琴	東京	3:16:23
3	宮腰 圭祐	福井	3:16:43
4	宮原 哲弥	福岡	3:16:43
5	吉田 真人	奈良	3:16:44
6	村出真一朗	鳥取	3:16:45
7	小峰 剛	長野	3:17:01
8	長沼 俊行	埼玉	3:21:47
9	上野 拓志	鳥取	3:21:48
10	石井 陽	京都	3:27:49

女子(70.5km)

1	萩原麻由子	群馬	1:57:07
2	飯田 香里	埼玉	1:57:08
3	村中恵美子	東京	1:57:08
4	石井 寛子	埼玉	1:57:08
5	矢沢みつみ	山梨	1:57:09
6	小高セツコ	埼玉	1:57:11
7	岡田由佳子	愛知	1:57:11
8	大森 智子	京都	1:57:11
9	古川ひとみ	新潟	1:57:12
10	佐藤 美香	大分	1:57:15



成年男子のゴールに最初に戻ってきたのは地元埼玉の菅原



女子のチャンピオンは群馬の萩原



少年男子のチャンピオンは京都の石浦

トラック・レース

2003年8月25日・26日

大宮公園双輪場(1周 500m)



団体追抜優勝の和歌山県チーム

少年男子1kmの覇者、早坂(宮城)



成年男子1kmの覇者、池田(香川)



男子スプリント決勝

2位、三澤(宮城)

1位、柴崎(三重)



チームスプリント優勝の高知県チーム



[ 競技結果 ] 前ページより

成年男子1kmタイムトライアル

1	池田 憲昭 香川	1:07.142
2	芦沢 大輔 茨城	1:07.397
3	在本 直樹 岡山	1:07.810
4	廣川 泰昭 愛媛	1:07.866
5	屋良 朝春 沖縄	1:08.849
6	伊原 弘幸 福井	1:09.505

少年男子1kmタイムトライアル

1	早坂 秀悟 宮城	1:06.932
2	山崎 晃 石川	1:08.503
3	田中 晴基 千葉	1:09.210
4	笹倉 慎也 富山	1:09.235
5	中村 健志 熊本	1:09.661
6	佐野 雄希 愛知	1:09.908

男子スプリント

1	柴崎 淳 三重
2	三澤 康人 宮城
3	山中 貴雄 高知
4	志村 太賀 山梨
5	宿口 潤平 埼玉
6	道林 誠 大阪

成年男子ポイントレース

1	菅原 勝良 埼玉	40 p
---	----------	------

2	寺本 道彦 島根	38 p
3	津末 浩平 大分	33 p
4	辻 貴光 京都	21 p
5	大塚 潤 静岡	15 p
6	石堂 大悟 広島	12 p

少年男子ポイントレース

1	田中 孝一 岡山	19 p
2	宮原 哲弥 福岡	18 p
3	宮腰 圭祐 福井	16 p
4	古川 尚耶 栃木	14 p
5	池田 諒 群馬	12 p
6	吉田 真人 奈良	11 p

男子チームスプリント

1	高知 中山・山中・水木	1:38.621
2	岡山 在本・吉田・清水	1:41.202
3	富山 笹倉・坂本・中村	1:38.343
4	三重 柴俊・柴淳・百々	1:39.576
5	埼玉 吉田・宿口潤・宿口陽	1:39.839
6	群馬 篠原・吉松・石川	1:40.410

4km団体追抜競走

1	和歌山 前田雅・前田修・森本・椎木尾	4:36.480
2	岐阜 高橋・川西・中島・後藤	4:36.760
3	京都 谷垣・大田・辻・石浦	4:40.030

4	兵庫 岩本・浦門・三木・坂本	4:43.620
5	熊本 中村健・岡本・鬼塚・中村悠	4:42.010
6	新潟 西巻・池浦・本間・武田	4:44.240

女子500mタイムトライアル

1	岡 希美 群馬	39.300
2	岡田由佳子 愛知	40.154
3	萩原麻由子 群馬	40.365
4	花山 千宏 宮城	40.707
5	石井 寛子 埼玉	40.865
6	牛島 愛 熊本	40.873

女子ポイントレース

1	萩原麻由子 群馬	27 p
2	佐藤 美香 大分	13 p
3	飯田 香里 埼玉	13 p
4	松尾 亜美 大分	11 p
5	村中恵美子 東京	10 p
6	石井 寛子 埼玉	8 p

都道府県対抗得点

<男子>

1	埼玉	35点
2	岡山	35点
3	高知	33点

<女子>

1	群馬	32点
2	埼玉	31点
3	大分	12点



SHIMANO

*The 100th Anniversary Tour de France*  
*Lance Armstrong*  
*United States Postal Service Team, USA*  
*Wins Fifth Consecutive*  
*Riding New DURA-ACE*

# DURA-ACE

www.shimano.com

発売時期・価格は、決定次第シマノホームページ上などでお知らせいたします。

## 20th シマノ「スズカ」国際ロード



鈴木真理



鈴木真理

夏休み最後の土日、三重県の鈴鹿サーキットにおいて、20回目を迎えるシマノ「スズカ」ロードが行われた。

2日間を締める最後のレースとして、「国際ロード」が海外・国内招待選手を含む237名でスタート。

ゴールスプリントを征したのは、ホストチームの鈴木真理であった。

## [ 競技結果 ] 8月31日(鈴鹿サーキット)

国際ロード (58.640km)

- 1 鈴木 真理 JPCA シムラレーシング 1:14:39.02
- 2 飯島 誠 JPCA ミタハバ 和 1:14:39.14
- 3 野寺 秀徳 JPCA シムラレーシング 1:14:39.39
- 4 岡崎 和也 JPCA 日本舗道 1:14:39.85
- 5 真鍋 和幸 JPCA ミヤクスバル 1:14:41.67
- 6 狩野 智也 JPCA シムラレーシング 1:14:44.36
- 7 Matthe Pronk BankGiroLoterij 1:14:56.53
- 8 柿沼 章 JPCA CCD村 1:15:01.71
- 9 三船 雅彦 JPCA ミヤクスバル 1:15:01.73
- 10 広瀬 敏 石川 日本舗道 1:15:03.21



# 第34回全日本実業団自転車競技選手権



チームスプリント、実業団記録で優勝の三菱化学物流



1kmTT優勝の村上



4km個人追抜優勝の坂口



ポイントレース、左から1位吉井、2位飯島、3位楠本





スプリント決勝1位の斉藤(手前)と2位の山中



女子500mTTのチャンピオン岡



マディソン優勝の愛三工業Aチーム、西谷(左)と坂口

[ 競技結果 ]

2003年8月22 ~ 23日

京都・向日町競輪場(400m)

1kmタイムトライアル

- |   |       |                 |          |
|---|-------|-----------------|----------|
| 1 | 村上 博幸 | BIRICHINO       | 1:05.804 |
| 2 | 山岸 正教 | BIRICHINO       | 1:07.130 |
| 3 | 在本 直樹 | 三菱化学物流          | 1:07.230 |
| 4 | 吉本 哲郎 | ﾊﾞｰｽﾀﾝﾊﾞｰｰﾙｽｷﾞﾉ | 1:08.334 |
| 5 | 廣川 泰昭 | ｲｷｯﾌﾟ ﾕｰﾚｰｼﾝｸﾞ  | 1:08.411 |
| 6 | 山中 貴雄 | ﾏﾘﾝｺﾞｰﾙﾄﾞ T.T   | 1:08.659 |

ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- |   |       |                      |
|---|-------|----------------------|
| 1 | 斉藤 友幸 | ﾏｯﾄﾞﾊﾞｰ ﾀ-ﾍﾞｲ ARIAKE |
| 2 | 山中 貴雄 | ﾏﾘﾝｺﾞｰﾙﾄﾞ T.T城北      |
| 3 | 久富 武  | 三菱化学物流レーシング クラブ      |
| 4 | 友定 祐己 | 三菱化学物流レーシング クラブ      |
| 5 | 吉本 哲郎 | ﾊﾞｰｽﾀﾝﾊﾞｰｰﾙｽｷﾞﾉ      |
| 6 | 守谷 陽介 | 三菱化学物流レーシング クラブ      |

4km個人追抜競走

- |   |       |                |          |
|---|-------|----------------|----------|
| 1 | 坂口 博  | 愛三工業レーシング      | 4:48.172 |
| 2 | 浦門 義人 | JOA-LASレーシング   | 4:48.983 |
| 3 | 吉井 功治 | JOA-LASレーシング   | 4:56.137 |
| 4 | 飯島 誠  | ｽﾐﾀﾞﾊﾞｰ ｯﾊﾟｰｰﾙ | 5:06.814 |

- |   |       |               |          |
|---|-------|---------------|----------|
| 5 | 武藤 大輔 | ﾏﾘﾝｺﾞｰﾙﾄﾞ T.T | 5:00.266 |
| 6 | 柳沢 正  | JOA-LASレーシング  | 5:01.184 |

ｸﾞｲﾘﾝ

- |   |       |                   |
|---|-------|-------------------|
| 1 | 大木 卓也 | ｽﾐﾀﾞﾊﾞｰ ｯﾊﾟｰｰﾙｽﾞﾐ |
| 2 | 吉田 康則 | 三菱化学物流レーシング クラブ   |
| 3 | 中山 延行 | ﾏﾘﾝｺﾞｰﾙﾄﾞ T.T城北   |
| 3 | 奥平 充男 | 岩井商会サイクルクラブ       |
| 5 | 仲松 勝太 | けんしん              |
| 6 | 仲松 太郎 | けんしん              |

ｲﾘﾐﾈｲｼﾞｮﾝ

- |   |       |                   |
|---|-------|-------------------|
| 1 | 山岸 正教 | BIRICHINO         |
| 2 | 浅野 英明 | ｽﾐﾀﾞﾊﾞｰ ｯﾊﾟｰｰﾙｽﾞﾐ |
| 3 | 河崎 恵治 | 岩井商会サイクルクラブ       |
| 4 | 楠本 正昭 | 愛三工業レーシング チーム     |
| 5 | 郡山 雅仁 | チームハイテクレーシング      |
| 6 | 斯波 雅貴 | ﾓﾝﾉｲﾚｰｼﾝｸﾞ チーム    |

ﾎﾟｲﾝﾄｰｽ

- |   |       |                   |      |
|---|-------|-------------------|------|
| 1 | 吉井 功治 | JOA-LASレーシング チーム  | 49 p |
| 2 | 飯島 誠  | ｽﾐﾀﾞﾊﾞｰ ｯﾊﾟｰｰﾙｽﾞﾐ | 44 p |
| 3 | 楠本 正昭 | 愛三工業レーシング チーム     | 27 p |
| 4 | 西谷 泰治 | 愛三工業レーシング チーム     | 23 p |
| 5 | 山田 哲治 | ﾏﾘﾝｺﾞｰﾙﾄﾞ T.T城北   | 22 p |
| 6 | 武藤 大輔 | ﾏﾘﾝｺﾞｰﾙﾄﾞ T.T城北   | 18 p |

ﾏﾀﾞｲﾝ

- |   |             |       |          |
|---|-------------|-------|----------|
| 1 | 愛三工業A       | 坂口・西谷 | 20 p     |
| 2 | 愛三工業B       | 郡山・楠本 | (-1)16 p |
| 3 | JOA-LAS     | 吉井・浦門 | (-1)9 p  |
| 4 | NEX Bianchi | 向川・森  | (-1)5 p  |
| 5 | ｶｶﾞ ﾏﾞASA   | 藤田・渡邊 | (-2)0 p  |
| 6 | 三菱化学物流A     | 緒方・山口 | (-3)3 p  |

チームスプリント

- |   |             |            |          |
|---|-------------|------------|----------|
| 1 | 三菱化学物流      | 久富・在本・吉田   | 1:17.284 |
| 2 | ﾏﾘﾝｺﾞｰﾙﾄﾞ   | 小松・山中・篠原   | 1:17.772 |
| 3 | ﾊﾞｰｽﾀﾝﾊﾞｰｰﾙ | 吉本・今津・伊藤   | 1:19.500 |
| 4 | ｽﾐﾀﾞﾊﾞｰ ｯ   | 飯野・水澤・丹沢   | 1:20.683 |
| 5 | サイクルクラブFET  | 鳥谷・百々・矢野   | 1:21.552 |
| 6 | ﾓﾝﾉｲﾚｰｼﾝｸﾞ  | 斯波淳・斯波雅・植田 | 1:21.811 |

4km団体追抜競走

- |   |           |             |          |
|---|-----------|-------------|----------|
| 1 | 愛三工業      | 坂口・郡山・楠本・西谷 | 4:32.619 |
| 2 | JOA-LAS   | 吉井・柳沢・伊藤・浦門 | 4:35.426 |
| 3 | ｽﾐﾀﾞﾊﾞｰ ｯ | 飯島・飯野・浅野・水澤 | 4:44.056 |
| 4 | ｶｶﾞ ﾏﾞAS  | 杉・藤田・渡邊・塩貝  | 4:58.414 |
| 5 | ﾏﾘﾝｺﾞｰﾙﾄﾞ | 山田・中山・武藤・矢野 | 5:02.683 |

女子500mタイムトライアル

- |   |       |                   |        |
|---|-------|-------------------|--------|
| 1 | 岡 希美  | ﾊｰﾌﾞ・ﾚｰｼﾝｸﾞ クラブ   | 39.679 |
| 2 | 三井 由香 | ﾊﾞｰｽﾀﾝﾊﾞｰｰﾙｽｷﾞﾉ   | 40.957 |
| 3 | 大塚 沙織 | チームアマツ            | 41.052 |
| 4 | 濱田 真子 | ｽﾐﾀﾞﾊﾞｰ ｯﾊﾟｰｰﾙｽﾞﾐ | 41.203 |
| 5 | 谷村裕美子 | ﾊﾞｰｽﾀﾝﾊﾞｰｰﾙｽｷﾞﾉ   | 42.549 |
| 6 | 越田恵美子 | CCDｷｯｸﾊﾞｰ ｲｸｽﾀﾏ   | 42.620 |

女子3km個人追抜競走

- |   |       |                 |          |
|---|-------|-----------------|----------|
| 1 | 大塚 歩  | A+00            | 4:03.807 |
| 2 | 小野山恵美 | ｲｷｯﾌﾟ ﾕｰﾚｰｼﾝｸﾞ  | 4:14.230 |
| 3 | 青木千江子 | ﾊｰﾌﾞ・ﾚｰｼﾝｸﾞ クラブ | 4:19.665 |
| 4 | 大塚 沙織 | チームアマツ          | 4:19.977 |
| 5 | 谷村裕美子 | ﾊﾞｰｽﾀﾝﾊﾞｰｰﾙｽｷﾞﾉ | 4:22.525 |
| 6 | 中山 朋子 | ｽﾐﾀﾞﾊﾞｰ ｯﾊﾟｰｰﾙ  | 4:22.929 |

女子エリミネーション

- |   |       |                   |
|---|-------|-------------------|
| 1 | 大塚 歩  | A+00              |
| 2 | 中山 朋子 | ｽﾐﾀﾞﾊﾞｰ ｯﾊﾟｰｰﾙｽﾞﾐ |
| 3 | 濱田 真子 | ｽﾐﾀﾞﾊﾞｰ ｯﾊﾟｰｰﾙｽﾞﾐ |
| 4 | 谷村裕美子 | ﾊﾞｰｽﾀﾝﾊﾞｰｰﾙｽｷﾞﾉ   |
| 5 | 小野山恵美 | ｲｷｯﾌﾟ ﾕｰﾚｰｼﾝｸﾞ    |
| 6 | 三井 由香 | ﾊﾞｰｽﾀﾝﾊﾞｰｰﾙｽｷﾞﾉ   |



# 経済産業大臣旗 第37回全日本実業団対抗ロードレース



- 5 ORBEAイフォード 武内・高橋・沼田 64点
- 6 CCD村岡 イナシステム 三浦・広瀬・辻 91点

BR-2 (44.8km)

レース不成立のためリザルトなし

BR-3 (33.6km)

- 1 児玉 規英 YOU CAN 48:49.616
- 2 北川 光治 ミノイレ-シグ チーム 48:58.638
- 3 村岡 勉 シバル リキング 48:58.724
- 4 中田 尚志 NEX Bianchi 48:59.723
- 5 堀切 善之 なるしまフルツ 49:00.330
- 6 中野清太郎 シロクワ 材タ 49:00.654
- 7 内藤 泰志 チム・マリオンザ 49:01.184
- 8 高島 光 TEAM POLPO 49:01.424
- 9 加藤 和茂 SENSATIONS 49:01.597
- 10 田畑 政人 ビス 熊谷 49:01.635

女子 (33.6km)

- 1 坂田 佳子 TEAM POLPO 49:50.542
- 2 小野山恵美 イキップ ユレシグ 53:03.948
- 3 酒井 真清 Testach-Racing 53:19.088
- 4 伊与田尚加 ミノイレ-シグ チーム 53:19.830
- 5 山口麻理子 BALBA R.T. 53:19.866
- 6 中山 朋子 ミタハ 和ハ-ル 53:23.804
- 7 長谷留美子 ウイルワクス 53:31.407
- 8 伊藤真理子 Testach-Racing 56:01.669



[ 競技結果 ]

2003年8月24日(京都・美山町)

BR-1 (112.0km)

- 1 坂口 博 愛三工業 2:38:40.272
- 2 今西 尚志 シバル-シグ 2:38:40.509
- 3 天笠 辰一 ミタハ 和ハ-ル 2:38:42.404
- 4 鈴木 真理 シバル-シグ 2:38:45.454
- 5 武内 誠 TeamORBEA 2:38:45.771
- 6 中川康二郎 ミタハ 和ハ-ル 2:38:46.101

- 7 野寺 秀徳 シバル-シグ 2:38:58.551
- 8 岡崎 和也 日本舗道 2:38:58.717
- 9 飯島 誠 ミタハ 和ハ-ル 2:38:58.883
- 10 真鍋 和幸 ミタハ 和ハ-ル 2:38:59.172

BR-1 団体

- 1 シバル-シグ 今西・鈴木・野寺 13点
- 2 ミタハ 和ハ-ル 中川・真鍋・石田 28点
- 3 ミタハ 和ハ-ル 天笠・飯島・米山 47点
- 4 愛三工業レーシング 坂口・田中・楠本 49点

## 全日本 BMX 選手権大会



スーパークラス、トップを走るの2位になった三浦



8月24日、新潟県の上越金谷山BMXトラックにおいて、第19回を迎える全日本BMX選手権大会が行われた。

なお、世界選手権で4位入賞し、活躍した三浦進選手と三瓶将広選手に連盟より賞状とカップが贈られた。

(写真右)

[ 競技結果 ]

スーパークラス

- 1 ネットバ-ガイマ USA
- 2 三浦 進 大阪
- 3 ボ-イズ U.S.A
- 4 阪本 章史 大阪
- 5 黒田 淳 神奈川
- 6 西岡 哲朗 広島

ガ-ルズ 12以下

- 1 渡辺 楓 岡山
- ガ-ルズ 13以上
- 1 藤原亜香里 神奈川

ボ-イズ 7以下

- 1 高木 智那 新潟
- ボ-イズ 8~9
- 1 吉村 啓斗 大阪

ボ-イズ 10~11

- 1 三瓶 貴公 神奈川
- ボ-イズ 12~13
- 1 三瓶 将廣 神奈川

ボ-イズ 14~16

- 1 飯端 英洋 大阪
- ボ-イズ 17~29
- 1 吉原 康高 新潟

メ-ンズ 30~34

- 1 滝川 年徳 愛知
- メ-ンズ 35~39
- 1 安野 秀樹 新潟

メ-ンズ 40以上

- 1 小島 勉 大阪



# 競技大会 結果

チーム名等については略して記載

## 2003全日本実業団サイクルレースin丸岡 (8/3 福井・丸岡町)

### BR-1 (160km)

1	広瀬 敏	日本舗道	3:54:06.106
2	中川康二郎	ミナマル	3:54:07.007
3	大内 薫	ハルノシガ	3:54:12.634
4	岡崎 和也	日本舗道	3:55:15.954
5	今西 尚志	ハルノシガ	3:55:18.639
6	狩野 智也	ハルノシガ	3:55:20.659
7	鈴木 真理	ハルノシガ	3:56:37.032
8	江下健太郎	愛三工業	3:56:38.033
9	三浦 恭資	CCD村	3:56:47.755
10	阿部 良之	ハルノシガ	3:56:47.893

### BR-2 (75km)

1	中島 康晴	BALBA R.T.	1:48:34.120
2	山田 隆史	スミタパ 和	1:48:34.264
3	五島 則夫	ルノA&Tマダ	1:48:34.292
4	神田 崇	POLPO	1:48:34.319
5	井柳 篤	スコレシガ チム	1:48:34.397
6	数元 彰	Sakatani R.	1:48:34.494
6	横須賀達雄	たかだランド	1:48:34.494
8	LUIS ALBERT	VIVACE	1:48:34.516
9	岩橋 賦	YUKIRIN	1:48:34.758
10	国分 俊幸	アノス	1:48:34.973

### BR-3 (50km)

1	内田 新二	LEGNO Sport	1:13:29.579
2	小柳 貴之	BALBA R.T.	1:13:30.068
3	中村 誠	CCD村	1:13:30.135
4	坂上 周平	マシク クラ	1:13:30.422
5	新出 哲也	チームアトツタ	1:13:30.446
6	小林 聡	Vitesse-仔加	1:13:30.909
7	土子 誠二	たかだランド	1:13:31.031
8	野村 隆敏	岩井商会	1:13:31.100
9	木下 雅弘	シウツツ 材	1:13:31.113
10	杉本 快	たかだランド	1:13:31.163

### 女子 (50km)

1	唐見実世子	CCD村	1:14:12.356
---	-------	------	-------------

2	坂田 佳子	TEAM POLPO	1:15:12.249
3	酒井 真清	Testach-Racing	1:16:30.273
4	佐藤 智子	ORBEA	1:21:48.300
5	伊藤真理子	Testach-Racing	1:22:06.652
6	山口麻理子	BALBA R.T.	1:22:06.955
7	岡野 尚美	SPADE ACE	1:22:07.159

## 2003JCFMTBジパロシラズ J1 DH#4

(8/10 岐阜・白鳥ウイングヒルズ)

### DH男子エリート (1.9km)

1	井手川直樹	広島 G Cross	3:20.209
2	ツバト ヲシ	埼玉 MX/MONG	3:22.108
3	高橋 唯之	福島 G Cross	3:23.476
4	安達 靖	愛知 キノゲール	3:23.952
5	河合 良紀	三重 country nut	3:29.222
6	丸山 弘起	長野 MTB maga	3:29.882
7	大島 礼治	兵庫 MTB maga	3:30.351
8	河合 暁延	愛知 Mom&Pop	3:31.277
9	竹本 将史	埼玉 ブリヂストン	3:33.809
10	鍋島 健一	福岡 ブリヂストン	3:36.004

### DH女子エリート (1.9km)

1	増田 まみ	埼玉 GIANT J.	4:14.160
2	猪俣 浩子	神奈川 FOES/CRE	4:18.032
3	渡辺 キリ	長野 CANNOND	4:37.871
4	佐藤由布子	神奈川 SY-NakSP	5:15.312
5	服部 良子	神奈川 風魔横浜	5:18.350
6	鴨下 美穂	神奈川 TECH IN	5:32.142
7	芦澤ひとみ	東京 KHS Japan	5:41.876
8	杉山 美佐	静岡 DD BIKES	5:43.245
9	松田 恵美	東京 MX/MONG	5:58.121
10	福本 弘佳	兵庫 ringoro	5:58.955

## 2003JCFMTBジパロシラズ J1 DH#5

XC#7 (8/23-24 青森・モリヒルズ)

### XC男子エリート (32km)

1	山口 孝徳	長野 MX/MON	2:06:11.31
2	色川 浩樹	茨城 GIANT J.	2:07:51.88
3	野口 忍	京都 TREK J.	2:11:46.48
4	小笠原崇裕	長野 GARY F	2:12:45.53
5	宇田川聡仁	静岡 ブリヂストン	2:17:02.72
6	湯本 優	千葉 リー	2:17:30.23
7	山田大五朗	福岡 BRIDLER	2:18:50.17
8	小野寺 健	北海道 GAS.PAN2	18:55.75
9	菅間 圭介	宮城 奥州/LAP	2:20:17.29
10	山本 幸平	北海道 キノゲール	2:21:26.41

### XC女子エリート (22km)

1	南部 博子	福岡 TREK J.	1:40:07.36
2	中込由香里	長野 SY-Nak	1:46:38.04
3	真下 正美	神奈川 SY-Nak	1:49:35.87

4	高橋いづみ	東京 SY-Nak	1:50:01.44
5	榎本 梨絵	岡山 Be-One	1:54:37.67
6	中口 裕代	長野 Commenc	-1LAP
7	内田 順子	東京 SY-Nak	-1LAP
8	深井 薫	大阪 GARY FISH	-2LAPS
9	岐部 容子	福岡 正屋中村学園	-2LAPS
10	佐々木優子	茨城 ヲザール	-2LAPS

### DH男子エリート (1.7km)

1	竹本 将史	埼玉 ブリヂストン	3:08.82
2	井手川直樹	広島 G Cross	3:09.08
3	和田 良平	大阪 INTENSE j.	3:10.48
4	ツバト ヲシ	埼玉 MX/MONGO	3:18.39
5	高橋 唯之	福島 G Cross	3:23.34
6	大島 礼治	兵庫 MTB magaz	3:24.42
7	小鷹 吉国	埼玉 ZIP	3:25.24
8	佐々木善典	岩手 EXTREME	3:26.64
9	赤堀 吉功	岐阜	3:26.78
10	向原 健司	大阪 KUWAHARA	3:27.22

### DH女子エリート (1.7km)

1	増田 まみ	埼玉 GIANT J.	4:11.19
2	渡辺 キリ	長野 CANNONDA	4:21.70
3	猪俣 浩子	神奈川 FOES/CRE	4:22.85
4	福本 弘佳	兵庫 Ringo R	4:55.58
5	佐藤由布子	神奈川 SY-Nak	6:24.57
6	松田 恵美	東京 MX/MONGO	6:28.48
7	菅原 亮香	岩手 LAVENDE	7:15.78
8	大西 雅美	兵庫 YRS-ANC	7:40.97
9	服部 良子	神奈川 風魔横浜	8:19.67
10	寿 弥生	岩手 EXTREME	9:51.24

## 2003JCFMTBジパロシラズ J2 DH

Naeba (8/30-31 新潟・湯沢町)

### 男子エリート (4.3km)

1	高橋 唯之	埼玉 G Cross H	6:35.76
2	井出川直樹	広島 G Cross Ha	6:37.36
3	笠川雄一郎	福井 MX/HARO	6:51.06
4	三宅 和之	埼玉 SINTESI	6:53.53
5	赤澤 勝	岡山 BPSなかやま	6:54.67
6	今中 隆介	東京 InterMax	DH 6:55.61
7	伊藤 良高	愛知 K2 KENDA	6:57.83
8	三輪 和弘	神奈川 MARSH	6:58.88
9	鈴木 正司	京都 重力技研	7:00.99
10	伊藤 康喜	東京 キノゲール	7:02.18

### 女子エリート (4.3km)

1	菅原 亮香	岩手 LAVENDER	8:59.81
2	黒川 久美	石川 FRS	9:48.20
3	関根 舞	栃木 おきらく隊	9:54.62

## 2003MTB 世界選速報 未政実緒 ダウンヒル 7位!

スイスのルガーノで8月31日から9月7日まで、2003MTB世界選手権が行われ、ダウンヒル女子エリートで未政が7位と健闘した。

### [競技結果]

クロスカントリー	
男子エリート	
73 鈴木 雷太	長野 -3Laps
86 宇田川聡仁	静岡 -4Laps
男子ジュニア	
32 山本 幸平	北海道 -1Lap
53 小野寺 健	北海道 -2Laps

### 女子エリート

37 南部 博子	福岡	2:27:04.00
----------	----	------------

### ダウンヒル

#### 男子エリート

70 大島 礼治	兵庫	5:24.49
93 竹本 将史	埼玉	6:22.95

#### 男子ジュニア

47 青柳修一郎	東京	5:33.90
----------	----	---------

### 女子エリート

7 未政 実緒	兵庫	5:36.81
---------	----	---------

### 4クロス

#### 男子

40 栗瀬 裕太	大阪	41.23
----------	----	-------

#### 女子

9 未政 実緒	兵庫	44.36
---------	----	-------

2003年ロード世界選手権大会派遣について

大会日程	10月7日～12日	選手<男子エリート>	鈴木 真理(シマノ)
派遣期間	10月3日～14日	<女子エリート>	沖 美穂(ファームフリッツ・ラピスタ)
開催地	カナダ・ハミルトン	<アンダー23>	別府 史之(ブリヂストン)
派遣選手団		<男子ジュニア>	畑中 勇介(昭和第一高校)
監督	高橋 松吉(JCF強化コーチ)		西村 光太(三重高校)
メニツク	鬼原 積(JCF強化スタッフ)		村上 純平(山形電波工高校)
マッサー	石田 宗男(JCF強化スタッフ)		

加盟団体事務局の電話番号変更について

沖縄県自転車競技連盟 TEL: 098-868-0404

ACCトラックアジアカップ2003 日本ラウンド  
ACC Track Asia Cup 2003, JAPAN ROUND

アジア地区の国別対抗戦  
「トラックアジアカップ」  
第1戦タイに続く、日本での最終戦。

ACC Track  
Asia Cup 2003

Final Round Japan

6月から延期されていた「アジアカップ」の日程がついに決定!!

期 日 2003年11月12日(水) 13日(木)  
場 所 東京都調布市・京王閣競輪場(京王相模原線・京王多摩川駅前)

平成15.16年度(財)日本自転車競技連盟評議員名簿

北海道:高村 敦、青森県:柳沢 喜一、岩手県:主演 春蔵、宮城県:伊里山 豊、秋田県:高橋 三郎、山形県:小口 謙三  
福島県:岡田 信弘、茨城県:萩原 重一、栃木県:渡邊 知明、群馬県:内山 昭二、埼玉県:渡邊 淳、千葉県:廣瀬 来  
東京都:白井 滋、神奈川県:岡本 満男、山梨県:三沢 一章、新潟県:中林 修、長野県:斎藤 博、富山県:浅倉 基  
石川県:坂本 喜彦、福井県:牧野 昭夫、静岡県:望月 正、愛知県:酒井 忠雄、三重県:佐久間重光、岐阜県:國枝 一成  
滋賀県:小西 良章、京都府:熊本 彰廣、大阪府:程原 邦夫、兵庫県:藤本 清孝、奈良県:藤谷 昇、和歌山県:林 伸良  
鳥取県:岡田 慎二、島根県:久野 志延、岡山県:近藤 忠彦、広島県:川手 一則、山口県:森中 康行、香川県:寒川 英樹  
徳島県:久保 徹、愛媛県:芳之内保彦、高知県:久家 修、福岡県:高山 順、佐賀県:佐々木昭彦、長崎県:永田 学  
熊本県:松本 秀憲、大分県:石黒新二郎、宮崎県:黒木利一郎、鹿児島県:黒川 剛、沖縄県:高良 賢二、実業団:川崎 寿男  
学 連:松坂 能文、高体連:針浦周一郎  
日本プロサイクリスト協会:佐久間信司郎・成田 昇・富原 忠夫、学識経験者:妙中 義之・鷲田 紀夫 以上55名

連盟の動き(8月中旬～9月上旬)

8月17日 ジュニアトラック世界選選手団出発 於:ロシア・モスクワ(帰国 8/26)  
9月 1日 マウンテンバイク世界選選手団出発 於:スイス・ルガーノ(帰国 9/9)  
3日 第4回常務理事会  
4日 第2回競技運営委員会



シクリスムエコー No.101 2003年9月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟  
 発行人/岩楯 昭一  
 編集人/加藤 昭  
 編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟 事務局  
 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内  
 TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508  
 URL http://www.jcf.or.jp/

JCF協賛スポンサー

